

11/8 | 火の用心 地域みんなの合言葉

秋季火災予防運動に合わせ、防火意識の向上を図るため消防団や消防署が市内3コースに分かれてポンプ車などの消防車両で防火パレードを行いました。
また、北こども園の園児が啓発チラシを配布しました。



11/22 | ご寄附ありがとうございます！

越前信用金庫から、SDGsに関する活動に活用してほしいと25万円をご寄附いただきました。市では「かつやまをきれいにする運動」や「四季折々の花の咲くまちづくり事業」に活用しています。



勝山高校
コラム

「ひびきは空に」〜まこと真・誠・信〜



スポーツの秋 勝高生が活躍！

福井県高校新人大会

【男女バドミントン部】男子学校対抗▼優勝(3年ぶり27回目)、女子学校対抗▼準優勝、男子ダブルス▼第2位 笹原蒼良・工谷奏匠ペア(☆)、第3位 山口知晃・猪島孔輝ペア(☆)、幸河歩夢・田中太基ペア、男子シングルス▼優勝 田中太基(☆)、第2位 山口知晃(☆)、第3位 笹原蒼良(☆)、女子シングルス▼第3位 近葉心(☆)、林あん菜
※男女団体と個人戦の☆印の選手は1月開催の北信越選抜大会に出場、男子団体は3月開催の全国高校選抜大会に出場

福井県陸上競技記録会

【男子テニス部】団体戦▼第3位
女子100m▼第3位 木下ゆき
女子200m▼第2位 木下ゆき
北信越高等学校新人陸上競技大会
男子5000m▼第7位 山内駿平

中部日本バドミントン選手権大会

少年男子シングルス▼第3位 田中太基

奥越ふれあい駅伝大会

【陸上部】男子2部▼準優勝

県民スポーツ祭

【女子バレーボール部】Bブロック▼第3位

勝高の「探究」、ますます進化中！

「ラウンドテーブル」を実施しました。各自の探究について、1年生は「テーマ設定」、2年生は「進捗状況や課題の解決」に関して、学年の枠を超えて意見交換しました。積極的な議論が行われ、とても意義のある時間になりました。それぞれがもった意見やアドバイスを今後の活動に活かしながら、深めていきます。次回の「ラウンドテーブルII」は、大学や企業の方など外部の方を招聘して2月に実施します。



Smile Pick Up! 市民の笑顔お届けします

奥越で育った地域芸能の宝



劇団ドラゴン・ファミリーの皆さん (卒団者を含む)
(11月に開催された20年目のミュージカルにて撮影)

勝山市を拠点にオリジナルミュージカルや名作劇、医療劇などを披露する劇団ドラゴンファミリーが今年創立20周年を迎えました。

設立は2005年に開催された国民文化祭がきっかけで、これまで60人の劇団員が活動し、のべ1万人以上の観客をミュージカルなどで楽しませてきました。

現在は15人の劇団員と市内



外のファンクラブ会員120人の方が活動を支えています。「子どもから大人まで幅広い年代が所属する劇団は、全国でもあまり類がなく、全国に自慢できる劇団です」と嬉しそうに話す代表の川村さん。
これまで地元で根ざした作品づくりを心がけてこられたそう。「舞台は観客と一緒に創り上げていくもので、観客の皆さんがいたからこそ劇団が育ち20年続いてきました」と感謝を述べていました。
今後については、「この20年間で劇団の土台がしっかりしてきたと手ごたえを感じています。今後もこれまで同様に活動を続けていきたいです。その為にも、後継者の育成にも力をいれていきたいです」と力強く話されていました。

JCHO-Column

がん検診・質問箱

～胃がん検診には内視鏡検査をお勧めします～

福井勝山総合病院
健康管理センター長 土山智邦



74才の方から、「毎年、病院でドック検診を受けてきました。次年度からは、後期高齢者になるので住民集団検診を受けようと思っています。胃の検診は2年に1回になりますか、それによいのでしょうか？」と質問を受けました。
その方には、「ピロリ菌検査が陰性で家族に胃がんの方がいなければ、胃がん検診は2年に1回でよいです。内視鏡検査を受けることが生理的に可能であれば、胃X線検査(バリウム胃透視)は省いてもかまいません。というのも、高齢者ではバリウムが原因で便秘が悪化するケースがあるからです」と説明しました。

胃がん検診は2年に1回です

胃にピロリ菌のいなかった方は、胃がんの発症リスクが低いので、胃がん検診は2年に1回で良いとされています。しかし、ピロリ菌の慢性胃炎や除菌治療をしたことのある方は、毎年の検査が推奨となっています。

胃がん検診には、胃X線検査と内視鏡検査があります

胃X線検査(バリウム透視)は住民検診と同日に受けることができます。内視鏡検査

胃(胃カメラ)を希望する方は、市町村が発行する受診票を利用して最寄りの登録医療機関で内視鏡検査を受けることが可能です。
慢性萎縮性胃炎の方には、内視鏡検査をお勧めします

胃X線検査で慢性胃炎とされている方は、ピロリ菌感染の可能性も確認していただきます。また、家族に胃がんにかかった方がいる場合も、ピロリ菌感染の有無を確認するために内視鏡検査を受けることがよいでしょう。そして、既にピロリ菌の除菌治療を受けている方は内視鏡検査による経過観察となります。ピロリ菌感染は胃がんのハイリスク因子の1つです。胃がんで生じる胃粘膜の色調変化や異常な模様を直視下に観察できる内視鏡検査が早期発見に適しています。

胃内視鏡検査の手続きは面倒だし、そもそも辛い検査で気が進まないという方は多いです。しかし、上記の理由を踏まえると、胃がん検診には内視鏡検査をお勧めします。

胃がん検診(付記)

内視鏡検査またはX線検査
対象年齢：50才以上
検診間隔：2年に1回